

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	第二東海自動車道 秦野～御殿場
事業主体	中日本高速道路株式会社

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	
	事業実施環境	■ ルート確定済	神奈川県都市計画決定：平成8年7月（上幅都計） 静岡県都市計画決定：平成6年7月（下幅都計）
		■ 円滑な事業執行の環境が整っている	平成6年3月（静岡県域）、平成8年6月（神奈川県域）に環境影響評価を実施し、騒音に関して環境保全目標を上回る箇所については適切な措置を講ずること、自然環境に関して事業による影響は小さいが環境保全について配慮するよう求められている。

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	渋滞損失時間（整備前）：86.53億人・時間／年 渋滞損失削減時間（削減率）：14.78百万人・時間／年（0.171%） （86.53億人・時間／年→86.38億人・時間／年）
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	神奈川県域で旅行速度の改善が期待される
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	東名高速道路を運行している高速バスの定時性が向上
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	御殿場市～羽田空港、100分⇒90分（約10分）
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	御殿場市～横浜港、83分⇒74分（約10分）
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	秦野市総合計画はだの2010、第三次御殿場市総合計画、第三次小山町総合計画
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	沼津市⇔横浜市
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	沼津市役所⇔横浜市役所 97分⇒85分(約10分)
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	丹沢山表尾根大倉や県立秦野戸川公園等、年間観光客入り込み数150万人
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される			
無電柱化による美しい町並みの形成		<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	「東海地震対策大綱」（中央防災会議：会長内閣総理大臣）において、「地震に強い交通ネットワーク」として位置付け
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	（伊勢原J⇔（東名高速道路）⇔御殿場J→伊勢原J⇔（第二高速道路）⇔御殿場J）
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	事前通行規制区間：一般国道246号小山町（連続雨量250mm）
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出量（整備前）：7,695百万t-CO2/年 CO2排出量削減量：55百万t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NOx排出量（整備前）：33百万t-NOx/年 NOx排出量削減率：0.8%
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出量（整備前）：3百万t-SPM/年 SPM排出量削減率：0.8%
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	般国道246号の松田町志原（夜72dB）、山北町向原（夜77dB）、山北町山北（夜75dB）、山北町川西（昼70dB、夜80dB）、御殿場市紫怒田（昼76dB、夜79dB）、御殿場市駒門（昼77dB、夜77dB）、御殿場市川島（夜78dB）、合計7箇所・1.6km 全ての箇所が環境基準類型指定地域及び騒音規制区域に指定
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	神奈川県：道路の整備に関するプログラム（H12策定）に「広域交流ネットワークの形成」としての位置付け 静岡県：道路の整備に関するプログラム（H12策定）に「世界・全国との交流・連携ネットワークの充実」としての位置付け
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	小山町開放型憩施設設置構想
		<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	現東名高速道路の混雑緩和、緊急時のネットワークの形成

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
第二東海自動車道	秦野～ 御殿場JCT	L=33km	高速自動車国道	－

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
55,600～57,600	4	中日本高速道路(株)

① 費用

	事業費	維持修繕費	合計
基準年	平成17年度		
単純合計	5,056億円	960億円	6,016億円
基準年における 現在価値 (C)	3,158億円	274億円	3,432億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成17年度			
供用年	平成32年度			
単年便益 (初年便益)	1,091億円	89億円	30億円	1,210億円
基準年における 現在価値 (B)	12,476億円	1,016億円	341億円	13,832億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	4.0
-------------	-----

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	55,600～57,600	±10%	3.45～4.66
事業費	5,056億円	±10%	3.69～4.44
事業期間			
割引率	4.0%	±1%	3.47～4.73

交通状況の変化

事業名：第二東海自動車道（秦野～御殿場）

（推計時点 H33年）

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 [第二東海自動車道] : 33km	走行台キロ	[万台km/日]	0	190
	走行台時	[万台分/日]	0	114
	走行時間費用	[億円/年]	0	346
②主な周 辺道路 松田町・山 北町・小山 町・御殿場 市・秦野市 : 5641.1km	走行台キロ	[万台km/日]	1,500	1,618
	走行台時	[万台分/日]	2,502	2,410
	走行時間費用	[億円/年]	6,946	6,705
③その他道路合計 : 437533.5km	走行時間費用	[億円/年]	1,134,643	1,133,447

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 443207.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,141,589	1,140,497	1,091

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：第二東海自動車道（秦野～御殿場）

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



②主な周辺道路は松田町・山北町・小山町・御殿場市・秦野市内の道路全体

費用便益分析の条件

事業名：秦野～御殿場JCT

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成17年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (平成32年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他(高速自動車国道の便益算定速度は、実績データより速度と交通量の関係式を求めこれより算出)	<input checked="" type="checkbox"/>	

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 秦野～御殿場JCT

採用単価の根拠 高速道路		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
	33	25.21

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
－13年目	H 19	0.9246				
－12年目	H 20	0.8890				
－11年目	H 21	0.8548				
－10年目	H 22	0.8219				
－9年目	H 23	0.7903				
－8年目	H 24	0.7599				
－7年目	H 25	0.7307				
－6年目	H 26	0.7026				
－5年目	H 27	0.6756				
－4年目	H 28	0.6496				
－3年目	H 29	0.6246	5056	3158		
－2年目	H 30	0.6006				
－1年目	H 31	0.5775				
供用開始年次	H 32	0.5553			24.01	13.33
1年目	H 33	0.5339			24.01	12.82
2年目	H 34	0.5134			24.01	12.33
3年目	H 35	0.4936			24.01	11.85
4年目	H 36	0.4746			24.01	11.40
5年目	H 37	0.4564			24.01	10.96
6年目	H 38	0.4388			24.01	10.54
7年目	H 39	0.4220			24.01	10.13
8年目	H 40	0.4057			24.01	9.74
9年目	H 41	0.3901			24.01	9.37
10年目	H 42	0.3751			24.01	9.01
11年目	H 43	0.3607			24.01	8.66
12年目	H 44	0.3468			24.01	8.33
13年目	H 45	0.3335			24.01	8.01
14年目	H 46	0.3207			24.01	7.70
15年目	H 47	0.3083			24.01	7.40
16年目	H 48	0.2965			24.01	7.12
17年目	H 49	0.2851			24.01	6.85
18年目	H 50	0.2741			24.01	6.58
19年目	H 51	0.2636			24.01	6.33
20年目	H 52	0.2534			24.01	6.08
21年目	H 53	0.2437			24.01	5.85
22年目	H 54	0.2343			24.01	5.63
23年目	H 55	0.2253			24.01	5.41
24年目	H 56	0.2166			24.01	5.20
25年目	H 57	0.2083			24.01	5.00
26年目	H 58	0.2003			24.01	4.81
27年目	H 59	0.1926			24.01	4.62
28年目	H 60	0.1852			24.01	4.45
29年目	H 61	0.1780			24.01	4.27
30年目	H 62	0.1712			24.01	4.11
31年目	H 63	0.1646			24.01	3.95
32年目	H 64	0.1583			24.01	3.80
33年目	H 65	0.1522			24.01	3.65
34年目	H 66	0.1463			24.01	3.51
35年目	H 67	0.1407			24.01	3.38
36年目	H 68	0.1353			24.01	3.25
37年目	H 69	0.1301			24.01	3.12
38年目	H 70	0.1251			24.01	3.00
39年目	H 71	0.1203			24.01	2.89
合計			5,056	3,158	960	274
単純事業費計			5,056		960	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名: 秦野~御殿場JCT

年次	年度 (基準年) H17	総走行台キロの年次別伸び率 (東海7ロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 32	0.9914	1.1359	1.0895	0.5553					1,091.49	606.10					88.87	49.35	29.80	16.55	1,210.16	672.00
1年目	H 33	0.9885	1.1372	1.0895	0.5339					1,091.49	582.75					88.87	47.45	29.80	15.91	1,210.16	646.10
2年目	H 34	0.9856	1.1386	1.0895	0.5134					1,091.49	560.37					88.87	45.63	29.80	15.30	1,210.16	621.30
3年目	H 35	0.9799	1.1399	1.0886	0.4936					1,091.49	538.76					88.87	43.87	29.80	14.71	1,210.16	597.33
4年目	H 36	0.9770	1.1413	1.0886	0.4746					1,091.49	518.02					88.87	42.18	29.80	14.14	1,210.16	574.34
5年目	H 37	0.9741	1.1427	1.0886	0.4564					1,091.49	498.16					88.87	40.56	29.80	13.60	1,210.16	552.32
6年目	H 38	0.9713	1.1427	1.0876	0.4388					1,091.49	478.95					88.87	39.00	29.80	13.08	1,210.16	531.02
7年目	H 39	0.9684	1.1440	1.0876	0.4220					1,091.49	460.61					88.87	37.50	29.80	12.58	1,210.16	510.69
8年目	H 40	0.9626	1.1454	1.0867	0.4057					1,091.49	442.82					88.87	36.05	29.80	12.09	1,210.16	490.96
9年目	H 41	0.9598	1.1467	1.0867	0.3901					1,091.49	425.79					88.87	34.67	29.80	11.62	1,210.16	472.08
10年目	H 42	0.9569	1.1481	1.0867	0.3751					1,091.49	409.42					88.87	33.34	29.80	11.18	1,210.16	453.93
11年目	H 43	0.9540	1.1440	1.0830	0.3607					1,091.49	393.70					88.87	32.06	29.80	10.75	1,210.16	436.50
12年目	H 44	0.9483	1.1399	1.0784	0.3468					1,091.49	378.53					88.87	30.82	29.80	10.33	1,210.16	419.68
13年目	H 45	0.9454	1.1372	1.0756	0.3335					1,091.49	364.01					88.87	29.64	29.80	9.94	1,210.16	403.59
14年目	H 46	0.9397	1.1332	1.0710	0.3207					1,091.49	350.04					88.87	28.50	29.80	9.56	1,210.16	388.10
15年目	H 47	0.9368	1.1291	1.0673	0.3083					1,091.49	336.51					88.87	27.40	29.80	9.19	1,210.16	373.09
16年目	H 48	0.9310	1.1250	1.0627	0.2965					1,091.49	323.63					88.87	26.35	29.80	8.84	1,210.16	358.81
17年目	H 49	0.9282	1.1209	1.0590	0.2851					1,091.49	311.18					88.87	25.34	29.80	8.50	1,210.16	345.02
18年目	H 50	0.9224	1.1182	1.0554	0.2741					1,091.49	299.18					88.87	24.36	29.80	8.17	1,210.16	331.70
19年目	H 51	0.9195	1.1141	1.0517	0.2636					1,091.49	287.72					88.87	23.43	29.80	7.86	1,210.16	319.00
20年目	H 52	0.9138	1.1101	1.0470	0.2534					1,091.49	276.58					88.87	22.52	29.80	7.55	1,210.16	306.65
21年目	H 53	0.9109	1.1060	1.0434	0.2437					1,091.49	266.00					88.87	21.66	29.80	7.26	1,210.16	294.92
22年目	H 54	0.9109	1.1005	1.0397	0.2343					1,091.49	255.74					88.87	20.82	29.80	6.98	1,210.16	283.54
23年目	H 55	0.9080	1.0965	1.0360	0.2253					1,091.49	245.91					88.87	20.02	29.80	6.71	1,210.16	272.65
24年目	H 56	0.9080	1.0910	1.0323	0.2166					1,091.49	236.42					88.87	19.25	29.80	6.45	1,210.16	262.12
25年目	H 57	0.9052	1.0870	1.0286	0.2083					1,091.49	227.36					88.87	18.51	29.80	6.21	1,210.16	252.08
26年目	H 58	0.9023	1.0829	1.0249	0.2003					1,091.49	218.63					88.87	17.80	29.80	5.97	1,210.16	242.40
27年目	H 59	0.9023	1.0774	1.0212	0.1926					1,091.49	210.22					88.87	17.12	29.80	5.74	1,210.16	233.08
28年目	H 60	0.8994	1.0734	1.0175	0.1852					1,091.49	202.14					88.87	16.46	29.80	5.52	1,210.16	224.12
29年目	H 61	0.8994	1.0679	1.0138	0.1780					1,091.49	194.29					88.87	15.82	29.80	5.30	1,210.16	215.41
30年目	H 62	0.8966	1.0639	1.0101	0.1712					1,091.49	186.86					88.87	15.21	29.80	5.10	1,210.16	207.18
31年目	H 63	0.8937	1.0598	1.0065	0.1646					1,091.49	179.66					88.87	14.63	29.80	4.91	1,210.16	199.19
32年目	H 64	0.8937	1.0543	1.0028	0.1583					1,091.49	172.78					88.87	14.07	29.80	4.72	1,210.16	191.57
33年目	H 65	0.8908	1.0503	0.9991	0.1522					1,091.49	166.12					88.87	13.53	29.80	4.54	1,210.16	184.19
34年目	H 66	0.8908	1.0448	0.9954	0.1463					1,091.49	159.68					88.87	13.00	29.80	4.36	1,210.16	177.05
35年目	H 67	0.8879	1.0408	0.9917	0.1407					1,091.49	153.57					88.87	12.50	29.80	4.19	1,210.16	170.27
36年目	H 68	0.8851	1.0367	0.9880	0.1353					1,091.49	147.68					88.87	12.02	29.80	4.03	1,210.16	163.73
37年目	H 69	0.8851	1.0313	0.9843	0.1301					1,091.49	142.00					88.87	11.56	29.80	3.88	1,210.16	157.44
38年目	H 70	0.8822	1.0272	0.9806	0.1251					1,091.49	136.55					88.87	11.12	29.80	3.73	1,210.16	151.39
39年目	H 71	0.8822	1.0217	0.9769	0.1203					1,091.49	131.31					88.87	10.69	29.80	3.58	1,210.16	145.58
合計										43,659.60	12,475.73					3,554.80	1,015.78	1,192.00	340.61	48,406.40	13,832.13